



ROTARY INTERNATIONAL®

職業奉仕入門

はじめに

ロータリーの会員資格は会員の職業に基づいており、各クラブは、地元地域社会の事業と専門職務の縮図をクラブで再現するよう努めています。このような独自の試みが、ロータリーが長きにわたり取り組んできた「四大奉仕部門」の第二部門、職業奉仕の原動力を生み出しています。職業奉仕を通じて、ロータリアンはすべての取引における高い倫理基準を守り、これを推進し、あらゆる有用な仕事の価値を認め、自己の職業上の専門知識や技能を社会の問題やニーズに役立てるよう期待されています。

職業奉仕を推進する責務は、ロータリー・クラブとクラブ会員の両方にあります。各クラブは、会員の職業的スキルを發揮できるようなプロジェクトを実施すべきです。また、クラブ会員は、そのようなプロジェクトに貢献し、ロータリーの原則に沿って自らの事業や仕事を律することが求められています。

職業奉仕と高い倫理基準

ロータリアンは、これまで長い間、職業奉仕への取り組みの一環として高い倫理基準の実践を推進してきました。その中で生まれたのが、「四つのテスト」と「ロータリアンの職業宣言」の2つであり、職場や私生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針となっています。

四つのテスト

「四つのテスト」は、1932年、当時のシカゴ・ロータリー・クラブの会員であり、1954-55年度に国際ロータリー会長を務めたハーバート J. テイラーにより発案されました。倒産寸前にあった会社を建て直す仕事を任されたテイラーは、仕事に関連するすべての事柄において従うべき倫理的指針として「四つのテスト」を創りました。この会社が倒産を免れたのは、このシンプルな哲学のおかげであったと人々は考えました。その後、1934年に国際ロータリーによって採択されて以来、「四つのテスト」はロータリアンが倫理的行動を測る上での重要な尺度として用いられてきました。このテストは、数十カ国語に翻訳され、世界中でロータリアンにより推進されています。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

ロータリアンの職業宣言

「職業宣言」は、ロータリーの綱領に記されている高い道徳的水準をさらに明確に定義する手段として、1989年の規定審議会で採択されました。これは、すべてのロータリアンが、「四つのテスト」とともに事業や専門職務活動において適用できる倫理的行動の枠組みとなるものです。

ロータリアンの職業宣言

事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私には以下のごとく行動することが求められている。

- 1) 職業は奉仕の一つの機会であると考えること。
- 2) 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道德基準に対し、名実ともに忠実であること。
- 3) 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理基準を推進するために全力を尽くすこと。
- 4) 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上関係を持つすべての人々に対し、公正であること。
- 5) 社会に役立つすべての仕事に対し、それに伴う名誉を認め、敬意を表すること。
- 6) 自己の職業上の才能を捧げて、青少年に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めること。
- 7) 広告に際して、また自己の事業または専門職務について人々に伝える際には、正直を貫くこと。
- 8) 事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めたり、与えたりしないこと。

職場で高い倫理基準を推進するために

事業や専門職務のリーダーとして、また、あらゆる職業において尊敬される者としての立場を生かし、従業員、同僚、地域社会全体に模範を示すことで、高い倫理基準を推進することができます。仕事に関連したあらゆる種類の交流は、倫理的行動を促進する機会となります。ここで、ロータリアンが日々の職務において実践できる具体的な方法を挙げてみましょう。

- 雇用、研修、業務評価において、誠意、責任、公平さ、他者の尊重について話し合い、その重要性を強調する。
- 職場では、仕事中またはそれ以外における模範的な行動を称え、奨励する。
- 顧客、業者、仕事関係者と接する際には、高い倫理基準を重んじていることを伝え、これを身をもって実践する。

職場で倫理的行動を実践するための3つのカギ

2009年、米国経済誌「フォーブス」に掲載されたリーダーシップに関する記事では、誠実な言葉遣い、正しい行動に徹する姿勢、曖昧さを断固として許さない態度の3つが、倫理的な事業慣行のよりどころであると述べられています。

- 1) 誠実な言葉遣い：「リーダーが組織のためにできる最も重要なことの一つは、誠実で明瞭な言葉遣いである」 「戦略的事業方法」や「競争優位性」といった婉曲な表現に隠された反倫理的な論理を明らかにする。言葉の力を用いて、自らの倫理的立場を明確に述べる。
- 2) 正しい行動に徹する姿勢：「行動が価値観の現れであるというのは本当だが、行動から価値観が生まれることがあるのも、また真実である」 従業員が人としての高潔さを育み、実践していけるよう、勤務評価の期待事項として倫理の実践を組み入れる。
- 3) 曖昧さを断固として許さない態度：「道德絶対主義は古めかしく厳格な印象を与えるかもしれないが、正しい行いへと導く明確で力強く、揺ぎない考えを持つためには、これこそが必要なのだ」

Mendhro, Umamah, and Abhinav Sinha. 2009. Three keys to staying ethical in the age of Madoff. *Forbes*, 6 February. www.forbes.com/2009/02/06/ethics-corruption-india-leadership-corruption09_0209_mendhro.html.

職業奉仕と職業分類

ロータリー・クラブ会員の入会決定の指針である職業分類の原則を用いることで、各クラブの会員の事業および専門職務が、その地域の事業や専門職を偏らずに反映できるようになっています。職業分類は、職業奉仕と切り離せない密接した関係にあります。ロータリアンはロータリーにおいて自らの職業を代表するように、職業においてロータリーを代表しているのです。

自分の職業をテーマとした卓話や発表を行うことは、クラブで職業への認識を深める優れた方法です。こういった話を聞くことは、発生しうるさまざまな問題やその解決策なども含め、自分の職業以外にほかの会員の職業の実情を学べる機会となります。職業分類に関する卓話は、若者や失業者を対象に職探しに通じる技能を身につけられるよう支援するプロジェクトをクラブが始めるきっかけとなることもあります。

会員の職場訪問を企画することも、各会員の職業の価値を重んじる方法となります。持ち回り制で担当するという意味を持つ「ロータリー」という名称は、会員の職場を会合の場として持ち回り制で使用したことに由来しています。この伝統は、会員が自分の職業をクラブで分かち合う素晴らしい方法として、今日も受け継がれています。人前で話すのが得意ではないという会員は、職業奉仕に関する卓話を行う代わりに、職場を案内するツアーを企画するとよいでしょう。

会員の職場がクラブ会員全員を収容できる大きさであれば、時折そこで例会を開くのも一案です。若い人々に参加するよう呼びかけることも検討してみてください。さまざまな職種について直に知ることが、賢明なキャリアの進路決定に役立つこともあります。また、将来の会員候補者として、訪れた若者をクラブに紹介することもできるでしょう。

職業奉仕プロジェクトの機会

ロータリアン個人とロータリー・クラブは、推奨されている以下のアイデアを実施することで、RI長期計画を支援し、ロータリー特有の職業奉仕への取り組みに貢献することができます。

高い倫理基準を重視するロータリーの考えを広める

- 地元の目立つ掲示板に「四つのテスト」を掲げる。
- 職場や事務所の壁に「四つのテスト」と（または）「ロータリアンの職業宣言」を飾り、事業の倫理と人としての高潔さを重んじるロータリーの考えを同僚に伝える会話のきっかけをつくる。
- 職場、地域社会、家庭における言動が、常に高い倫理基準に則ったものとなるよう、有言実行を心がける。
- 「四つのテスト」を実生活にどのように生かしているかをテーマに、エッセイコンテストを主催する。
- 読書に倫理教育を組み入れる「キャラクター・リテラシー」と呼ばれる児童対象の識字プロジェクトを実施する。詳細は、RI識字率向上支援グループ (www.rotary.org/literacy) までお問い合わせください。
- 倫理をテーマとしたRYLAプログラムを実施する。
- 高い倫理基準を保つための討論会やワークショップを職場で開催する。ゲストにロータリアンではない地元の業界リーダーを招く。生産的な話し合いを促すために、推奨されている討論用の以下の質問を用いる。

倫理に関するワークショップでの討議事項

- 職業において倫理に基づく決定を行うことはなぜ重要なのか。ロータリー・クラブでこのような決定を行うことは、なぜ重要なのか。
- どのようにして、ほかの人々に倫理的な行為を奨励できるか。
- ロータリーの高い倫理基準は、地域社会にどのような影響を与えるか。
- 高い倫理基準は、ロータリーの公共イメージをどのように高めることができるか。
- 倫理に反する決定がなされた場合、どのように対応するか。

あらゆる有用な職業の価値を認め推進する

- 職業に関する卓話や会員の職場訪問をクラブのプログラムの一環として組み入れる（詳細は5ページを参照のこと）。
- 自分の職業に関連したロータリー親睦活動グループに入会するか、新しくグループを結成する。ロータリー親睦活動は、共通の趣味や職業の関心に基づいて活動するために、ロータリアン、ロータリアンの配偶者、ローターアクターが結成する国際的なグループです。詳細はwww.rotary.org/fellowships（画面下の「日本語」をクリック）からご覧ください。
- 若い人々を自分の職場に招き、キャリアの機会について指導するためのキャリアデーを設ける。

専門的職業能力の養成を支援する

- 事業や職業団体に入会し、指導的な役割を果たすようクラブ会員に奨励する。
- 小企業の起業家を対象とするセミナーを主催し、地域社会の住民に参加を呼びかける。
- 仕事を通じてのネットワークづくりを目的とした非公式の行事を主催し、会員が地元の業界の人々と知り合い、ロータリーを紹介できる機会を提供する。
- 失業者や能力以下の仕事に就いている成人が求人市場で有力な人材となるために必要な職業技能を身につけられるよう、キャリア相談プログラムを始める。

職業をボランティア活動に生かす

- 若者の相談役となる。若者が学業とキャリアの開発において成功できるよう、知識、技能、価値観を分かち合い、援助する。
- ロータリー・ボランティアとして登録し、ロータリーのデータベースProjectLINK(www.rotary.org/ProjectLINK、画面下の「日本語」をクリック)を使って、自分の専門的な職業技能を必要としているプロジェクトを探す。

職業奉仕の推進

クラブや地区で職業奉仕を推進する上で、以下のリソースや機会を利用してください。

地区職業奉仕委員長に連絡を取る

地区全域において職業奉仕に対する認識の向上に努め、プロジェクトに関してロータリアンの支援と指導に当たる地区職業奉仕委員長を任命するよう、地区ガバナーに極力奨励されています。地区委員長の連絡先は、地区名簿で調べるか、Eメール (vocationalservice@rotary.org) でお問い合わせください。

職業奉仕月間を祝う

職業奉仕月間である10月は、有意義な職業奉仕プロジェクトを開始する機会です。手始めとしてこの出版物に含まれているプロジェクトのアイデアを参照することをお勧めします。

10月の職業奉仕月間の推進に役立つ、ダウンロード可能な資料やパワーポイントによるプレゼンテーションなど、関連リソースはロータリーのウェブサイト (www.rotary.org/ja) をご覧ください。

「Vocational Service Update (職業奉仕に関する最新情報)」の受信申し込み

国際ロータリー発行の「職業奉仕に関する最新情報」は、職業奉仕に関する情報とリソースを満載した無料のEメール・ニュースレター(英語のみ)です。受信の申し込みは、www.rotary.org/newslettersから、あるいはEメール (vocationalservice@rotary.org) で行うことができます。

国際ロータリー職業奉仕リーダーシップ賞

「国際ロータリー職業奉仕リーダーシップ賞」は、地区におけるフォーラム(公開討論会)の開催を通じて、在任中に地区全体として職業奉仕の推進に尽力し、その発展に努めた地区ガバナーを表彰するものです。推薦書式は、毎ロータリー年度に地区ガバナーに送付されます。

クラブと地区独自の賞を開発する

クラブと地区は、職業奉仕の理念に卓越した努力を捧げたロータリアンとロータリアン以外の人々を称える独自の賞を設けるよう奨励されています。

ProjectLINKで成功例を分かち合う

ProjectLINKは、資金、ボランティア、寄贈物資、ロータリー財団補助金の協同提唱者を必要としているロータリー・クラブと地区の奉仕プロジェクトが検索できるオンラインのデータベースです。また、ほかのクラブや地区が実施しているモデルプロジェクトの例もご覧いただけます。職業奉仕プロジェクトで大きな成果を上げた場合には、モデルプロジェクト提出書式 (www.rotary.org/ProjectLINK、画面下の「日本語」をクリック) を使用し、ぜひその体験を分かち合ってください。



ROTARY INTERNATIONAL®

One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
www.rotary.org

255-JA—(1009)